

第4学年1組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日(〇)第〇校時
授業者

- 1 **主題名** 重なる想い、伝わる想い
- 2 **ねらい** 広子と正子のお互いがお互いを想い合っているからこそ、悩むこともある。また、相手を想うからこそ、過ちを正直に話した方がいいこともある。これらのことについて話し合う学習を通して、友達や周囲の人間と互いに思いを寄せ合い、信頼し、助け合おうとする態度を育てる。
- 教材名** 大きな絵はがき (出典:「新しいどうとく 4」東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本時は、小学校第3学年及び第4学年の内容項目「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」に係るものである。内容項目は、第5学年及び第6学年の「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。」につながっていく。今回の内容項目は年間2回行う計画になっている。

主人公である広子は、仲良しの正子から、絵はがきをもらうが、その絵はがきには不足料金が発生していた。友達だからこそ、不快な思いをさせたくないという思いもあり、不足料金を正子に伝えることに悩む。

児童の成長にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つである。友達だからこそ、その人の立場にたち考え、本音で話すべきか、話さないべきか悩むこともある。しかし、友達だからこそ、その人のためにできることがある。時には、傷つけてしまうかもしれないと不安に感じるかもしれないが、その不安をこえられるのは、信頼である。信頼できるからこそ、その人のことを思い、伝えたいことも伝えることができる。そのような伝え合える関係にあるからこそ、お互いに高め合い成長ができるようになる。

そのような信頼をもとにした、より良い友達関係を築けるようになってほしい。

指導に当たっては、広子の正子と仲よしだからこそ、正直に言いだせないもどかしさを感じさせながら、正子に対して何を思い、何を大切にしたからこそ、最後は不足料金があることを正子に言おうという判断したのかを考えさせたい。そして、友情という関係の根底に、信頼が芽生えていることが、お互いを高め合えるより良い関係にあるという気づきこそが、自己マスタリーの育成に繋がると考える。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、共に協力し合いながら、運動会や校内音楽会などの行事に取り組んできた。運動会の応援や校内音楽会の練習では実行委員の呼びかけに対し、休み時間などにもみんなで取り組んでいる様子だった。校内音楽会の当日では教室で円陣を組み、気持ちを高める姿や、歌い終わった後の教室での、これまで取り組んできたことに満足する姿からは、クラスみんなでの気持ちの高まり合いを感じることができた。しかし、やさしさや、発達段階で脱中心化の時期でもあり、周りを気にしてしまい、正しいことをはっきりと声に出せないもどかしさもクラス内に感じられる。また友だち同士注意をできることもあるが、その注意をすることに満足してしまっている様子も感じられる。

道徳の授業においては、友達の意見に耳を傾け、自分の考えを深めようとする様子も見られる。本時を通して、他者の想いを受け、自分の行動を省みることができるということに気づき、そのようなお互いを高め合える切磋琢磨の関係性を養うことで自己マスタリーの育成を図りたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公が友達で大切な存在だからこそ、友達の間違いを教えるべきか教えないでおくべきか

悩みながらも、これまでを振り返り、本当の友情、信頼とは何かを考える話である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うことにする。

①正子が絵はがきを書いている場面

どのような気持ちで絵はがきを描いていたのかを考えさせる。

②広子が絵はがきをもらった場面

絵はがきを受け取った際の気持ちを考えさせる。

③広子が迷っている場面

大事な友達だからこそ、余計なことを言って傷つけない気持ちや、その反面、大切な友達と思うからこそ、言えることもある。という気持ちについて考えさせる。

④正子が伝えた場面

わかってくれると思った気持ちについて考えさせる

以上の理由から本時の主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 教材への関心を高める。 ・大きな絵はがきを見せて転校した正子と広子の関係を振り返りながら、正子がどのような思いで絵はがきを書いたのかを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・転校しても友達でいてほしい。 ・仲良しだよ。 ・広子に会いたいな。 ・広子にもこの景色を伝えたいな。 ・喜んでくれるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正子が転校しても、広子のことを友達と思い、広子のことを大切な存在と感じていることを感じさせたい。
展開	2 教材を読み、話し合う。 (1) 絵はがきをもらった広子はどんな気持ちになりましたか。 (2) 不足料金があることを知ったときどんな気持ちになりましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしい。 ・ありがとう。 ・転校したのにわざわざ。 ・返事を書きたいな。 ・不足料金のことどうしよう。 <p>伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の友達にも間違っって送ってしまうかもしれないから正子のが心配。 ・恥ずかしい思いをさせてしまう。 ・間違いは間違い。 ・正しいことは正直に言うべき。 ・言った方がいいと思うから。 <p>伝えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかく絵はがきをくれたのに嫌な思いをさせてしまう。 ・嫌われてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正子の気持ちを深く考えているからこそ、伝えるべきか、伝えないかを悩んでしまっている。どちらの考えが正しいとかではなく、大切な友達と思っているからこそ、悩む気持ちにもなることを感じさせたい。 <p>☆広子が考えていることについて、自分の思いを伝え合い、様々な見方や立場から考えている。(発言・つぶやき・ペア)</p>

	<p>(3) 正子に伝える気持ちにさせたのは何だと思いますか。</p> <p>3 自己を見つめる</p> <p>・二人の関係から学んだことはありますか。また、あなたは友達と過ごす中で、何を大切にしていきたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もう絵はがきをくれなくなってしまふかもしれない。 ・今じゃなくても今度伝えればいいかな。 ・すごく迷ったけれど、正子になら伝わるんじゃないかな。 ・きっとわかってくれる。 ・絵はがきを書いてくれた正子はきっと私のことを大切と伝えてくれているから、正直に伝えても大丈夫。 ・伝えたほうが正子のためになる。 ・お互いがお互いを思っているからこそ、伝わることもあるからそういう友達関係を築いていきたい。 ・思いが伝わるかわからないけれど、もし、友達が間違っただけをしたとき、自分の気持ちが伝わるような関係を友達と作っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広子と正子の思いが重なっているからこそ、伝わると思ったという気持ちに気付かせたい。 ・伝えることだけではなく、伝えないの中にも正子を大切に思っているという気持ちと同じように含まれていることにも考えさせる。 <p>☆二人の関係から学んだことについて考え、自分との関わりで考えている。(ノート・発表)</p>
終末	4 教師の説話を聞く		<ul style="list-style-type: none"> ・友達や周囲の人間と互いに思いを寄せ合い、信頼し、助け合おうとする態度を育てる。

5 他の教育活動との関連

事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文「大きな絵はがき」を宿題として読んでおく。(道徳音読)
特別の教科道徳	<p>教材名 「大きな絵はがき」</p> <p>広子と正子のお互いがお互いを思い合っているからこそ、悩むこともある。また、相手を想うからこそ、過ちを正直に話した方がいいこともある。これらのことについて話し合う学習を通して、友達や周囲の人間と互いに思いを寄せ合い、信頼し、助け合おうとする態度を育てる。</p>
事後指導	道徳コーナーに意見を掲示するとともに、コメントをノートに書き意欲を高める。
家庭との連携	授業中に書いた道徳ノートを教室内にある「道徳コーナー」に掲示し、授業参観の折に見ていただく。

6 板書計画

大きな絵はがき

友情

2人の関係から学びたいこと。大切にしたいこと。

自分のことのように考える。

広子さん
正子より

またあえるかな
はなれていても
これからも
またいっしょに

うれしい
おぼえてくれていて
ありがとう
大切にしてくれる
友だち
大きな絵はがきだから。

教えてあげたほうがいいよ。

正直に言わない
しょうそ
友だちだから
本当の友だち
他の人にも

お礼だけ言っておいたほうがいい

きずつく
ぜんぶがぜんぶ
おいまなよう
せかく...
本当の友だち

正子さん
しんぱい
友だちだからこそ
正子のためにも
きっと理解してくれる。

7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・広子の「伝えるか」、「伝えないか」を悩む姿と自分を重ねながら、友達の意見を聞きながら、考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・二人の関係から、自分の今後で大切にしていきたいことを、考えている。